

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第6210676号
(P6210676)

(45) 発行日 平成29年10月11日(2017.10.11)

(24) 登録日 平成29年9月22日(2017.9.22)

(51) Int.Cl.	F 1
G06F 17/30	(2006.01) G06F 17/30 220B
G06Q 30/06	(2012.01) G06F 17/30 220C
G06Q 50/10	(2012.01) G06F 17/30 210D
	G06Q 30/06
	G06Q 50/10

請求項の数 11 外国語出願 (全 21 頁)

(21) 出願番号	特願2012-266453 (P2012-266453)	(73) 特許権者	500520743 ザ・ボーイング・カンパニー The Boeing Company アメリカ合衆国、60606-2016 イリノイ州、シカゴ、ノース・リバーサイド・プラザ、100
(22) 出願日	平成24年12月5日 (2012.12.5)	(74) 代理人	110002077 園田・小林特許業務法人
(65) 公開番号	特開2013-122758 (P2013-122758A)	(72) 発明者	オゴーマン、ティム・ピー、ジュニア アメリカ合衆国 ワシントン 98124 -2207, シアトル, ピー. オー. ボックス 3707 エムシー 11-8 9
(43) 公開日	平成25年6月20日 (2013.6.20)		
審査請求日	平成27年12月3日 (2015.12.3)		
(31) 優先権主張番号	61/567,608		
(32) 優先日	平成23年12月6日 (2011.12.6)		
(33) 優先権主張国	米国(US)		
(31) 優先権主張番号	13/491,992		
(32) 優先日	平成24年6月8日 (2012.6.8)		
(33) 優先権主張国	米国(US)		

前置審査

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】コンテンツを電子的に発行するためのシステム及び方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンテンツの、セキュリティ整備されランク調整された検索のための方法であって、
コンテンツの選択を可能にする第1のユーザーインターフェース上の第1の選択肢の提示に対して、前記コンテンツの選択を受信すること、

第2のユーザーインターフェース上の複数の第2の選択肢の提示に対して、前記コンテンツに割り当てられる権利の選択を受信することであって、

前記第2の選択肢は前記コンテンツに関連付けられる権利に対応し、

前記権利は前記コンテンツへのアクセスが与えられるべきグループと関連付けられるように割り当てられて、セキュリティ整備された検索を可能にする、受信すること、

第3のユーザーインターフェース上の複数の第3の選択肢の提示に対して、前記コンテンツに割り当てられる、前記権利とは異なる一又は複数のタグの選択を受信することであって、

前記第3の選択肢は前記コンテンツに関連付けられるタグに対応し、

前記タグは制御タグ、供給者タグ及び前記コンテンツに関連付けられる規制を表すタグを含み、

前記第3の選択肢の前記選択に対して、前記タグは前記コンテンツに割り当てられて、少なくともコンテンツ配信、コンテンツ識別又はコンテンツ検索を可能にし、

前記タグは、1または複数の前記供給者タグ、前記制御タグまたは前記規制に関連付けられて、ランク調整された検索を可能にする、受信すること、

10

20

前記コンテンツを、前記割り当てられる権利及びタグと関連付けること、
前記コンテンツを走査し、前記走査されたコンテンツに応じて、また基づいて、前記コンテンツを一意に識別する第1のコンテンツ関連識別子を生成すること、

前記第1のコンテンツ関連識別子を他のコンテンツ関連識別子と比較することであって、前記他のコンテンツ関連識別子は、以前に発行されたコンテンツを一意に識別し、該比較は、前記第1のコンテンツ関連識別子が実質的に他のコンテンツ関連識別子の一つと同じであるかどうかを決定し、前記コンテンツが以前に発行されていないことを決定する、比較すること、

前記第1のコンテンツ関連識別子が実質的に同じであると決定されたとき、又は、前記割り当てられるタグに基づいて前記コンテンツの制限が示されるときに、ユーザーに通知すること、及び 10

前記コンテンツがまだ発行されていないと判定されたとき、前記コンテンツを発行すること、
を含む、方法。

【請求項2】

前記グループは、前記コンテンツにアクセス可能とされるコンテンツ所有者又は個人のうちの少なくとも一を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記コンテンツを、前記割り当てられる権利及びタグに関連付けることは、前記コンテンツのコンテキストにウェイトを置いた検索結果を返すことを可能にする、請求項1に記載の方法。 20

【請求項4】

前記コンテンツにアクセス可能とされるコンテンツ所有者、個人、又はグループの一又は複数の精度の確認を受信した後に、前記コンテンツが発行されるとする、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記コンテンツにアクセス可能とされる前記グループは、エンティティのアメリカ人従業員、該エンティティの非アメリカ人従業員、該エンティティの非従業員、又は限定された配布リストから選択された個人のうちの一又は複数を含む、請求項2に記載の方法。

【請求項6】

少なくとも前記コンテンツ所有者又はコンテンツ発行者が前記コンテンツを修正することを可能にするステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

前記コンテンツ所有者、コンテンツ修正者、又はコンテンツ発行者のうちの一又は複数に基づき、コンテンツに索引をつけるステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項8】

前記規制は、一又は複数の輸出規制を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記コンテンツ関連識別子及び一又は複数の他のコンテンツ関連識別子を前記選択されたコンテンツ及び前記他のコンテンツと関連付けることにより、前記コンテンツを前記他のコンテンツとグループ化することを含む、請求項1に記載の方法。 40

【請求項10】

前記コンテンツが対象とされる前記規制に基づき、個人又はグループによる前記コンテンツへのアクセスを実質的に阻止することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

コンテンツの選択を可能にする第1のユーザーインターフェース上の第1の選択肢の提示に対する、前記コンテンツの選択を受信し、

第2のユーザーインターフェース上の複数の第2の選択肢の提示に対する、前記コンテンツに割り当てられる権利の選択を受信し、

前記割り当てられる権利は、前記コンテンツにアクセス可能とされるコンテンツ所有 50

者、個人又は団体のうちの少なくとも 1 つを含み、

前記第 2 の選択肢は前記コンテンツに関連付けられる権利に対応し、

前記権利は前記コンテンツへのアクセスが与えられるべきグループと関連付けられる
ように割り当てられて、セキュリティ整備された検索を可能にし、及び

第 3 のユーザーインターフェース上での複数の第 3 の選択肢の提示に対する、前記コン
テンツに割り当てられる、前記権利とは異なる一又は複数のタグを受信し、

前記割り当てられるタグは、前記コンテンツが対象とされる規制、供給者タグ、制御
タグ、又は個人のタグのうちの一又は複数に関連付けられ、

前記第 3 の選択肢は前記コンテンツに関連付けられるタグに対応し、

前記タグは制御タグ、供給者タグ及び前記コンテンツに関連付けられる規制を表すタ
グを含み、

前記第 3 の選択肢の前記選択に対して、前記タグは前記コンテンツに割り当てられて
、少なくともコンテンツ配信、コンテンツ識別又はコンテンツ検索を可能にし、

前記タグは、1 または複数の前記供給者タグ、前記制御タグまたは前記規制に関連付
けられて、ランク調整された検索を可能にする、

アクセス装置、及び

前記コンテンツを、前記割り当てられる権利及び一又は複数のタグに関連付けて、前記
コンテンツのセキュリティ整備されランク調整された検索結果を返すことを可能にするブ
ロセッサを備え、

前記プロセッサは、

20

前記コンテンツを一意に識別する、コンテンツ関連識別子を決定し、

前記コンテンツ関連識別子を、以前に発行されたコンテンツを一意に識別する他のコ
ンテンツ関連識別子と比較して、重複発行を防止するため、該コンテンツが以前に発行さ
れたかどうかを決定し、

前記コンテンツ関連識別子が実質的に同じであると決定されたとき、又は、前記割り
当てられるタグに基づいて前記コンテンツの制限が示されるときに、ユーザーに通知し、

前記コンテンツがまだ発行されていないと判定されたとき、前記コンテンツの発行を
可能にするように構成された、装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

30

【0001】

本開示は、コンテンツを電子的に発行するためのシステム及び方法に関する。

【背景技術】

【0002】

コンテンツは、他者がそのコンテンツにアクセス及び／又は閲覧できるように、時に電子
的に発行される。しかしながら、多くの既知のシステムで、コンテンツはしばしば複数
回発行され、非効率的な記憶の原因となる。また、刊行物の多数の複製を記憶することに
より、どのドキュメントが最新バージョン（すなわち、公式のソースドキュメント）である
か、又はドキュメントのどのコンテキストが使用されるのかについて、混乱を招くかも
しれない。さらに、既知の発行システムでは、関連ランクが提供できない、又はコンテ
ンツの規制配信が提供できない。

40

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

【0003】

実施例の方法は、コンテンツ選択を受信するステップ、及びコンテンツに割り当てられ
た権利の選択を受信するステップを含む。また、方法は、一又は複数のタグの選択を受信
するステップ、及びコンテンツを割り当てられた権利及びタグに関連付けコンテンツのセ
キュリティ整備されランク調整された検索結果を可能にするステップも含む。実施例の裝
置は、コンテンツの選択、コンテンツに割り当てられた権利の選択、及び一又は複数のタ
グを受信するアクセス装置を備える。割り当てられた権利は、コンテンツにアクセス可能

50

とされるコンテンツ所有者、個人又は団体のうちの少なくとも一を含む。タグは、コンテンツが対象とされる規制、供給者タグ、制御タグ、又は個人のタグの一又は複数に関連付けられる。また、装置は、コンテンツを割り当てられた権利及び一又は複数のタグと関連付けて、コンテンツのセキュリティ整備されランク調整された検索結果を可能にするプロセッサも備える。実施例の装置は、コンテンツの選択、コンテンツに割り当てられた権利の選択、及び一又は複数のタグを受信するアクセス装置であって、割り当てられた権利は、コンテンツにアクセス可能とされるコンテンツ所有者、個人又は団体のうちの少なくとも一、コンテンツが対象とされる一又は複数の規制に関連付けられたタグ、供給者タグ、制御タグ、又は個人のタグを含むことを特徴とするアクセス装置、及びコンテンツを割り当てられた権利及び一又は複数のタグに関連付けて、コンテンツのセキュリティ整備されランク調整された検索結果を可能にするプロセッサを備え、プロセッサは、コンテンツが以前に発行されたことがあるかを判定するために、コンテンツを他のコンテンツと比較し、且つ追加的にコンテンツを他のコンテンツとグループ化する。

【 0 0 0 4 】

実施例の有形機械アクセス可能媒体は、その媒体上に記憶された命令を含んでおり、実行時に、機械に、コンテンツ選択を受信させ、且つコンテンツに割り当てられた権利の選択を受信させる。割り当てられた権利は、コンテンツにアクセス可能とされるコンテンツ所有者、個人又は団体のうちの少なくとも一を含む。また、実施例の有形機械アクセス可能媒体は、媒体上に記憶された命令を含んでおり、実行時に、機械に、一又は複数のタグの選択を受信させる。タグは、コンテンツが対象とされる規制、供給者タグ、制御タグ、又は個人のタグのうちの一又は複数に関連付けられる。さらに、実施例の有形機械アクセス可能媒体は、媒体上に記憶された命令を含んでおり、実行時に、機械に、コンテンツを割り当てられた権利及びタグに関連付けさせ、コンテンツのセキュリティ整備されランク調整された検索結果を可能にする。さらに、実施例の有形機械は、その媒体上に記憶された命令を含んでおり、実行時に、機械に、コンテンツ選択を受信し、及びコンテンツに割り当てられた権利の選択を受信し、割り当てられた権利は、コンテンツにアクセス可能なコンテンツ所有者、個人、又は団体のうちの少なくとも一を含み、一又は複数のタグ、コンテンツが対象とされる一又は複数の規制に関連付けられたタグ、供給者タグ、制御タグ、又は個人のタグの選択を受信し、且つコンテンツを割り当てられた権利及びタグに関連付け、コンテンツのセキュリティ整備されランク調整された検索結果を可能にする。実行時に、命令は、機械に、コンテンツをスキヤニングさせ、且つ第一のコンテンツ関連識別子を生成させ、且つ、コンテンツが以前に発行されたかを判定するために、機械に、第一のコンテンツ関連識別子を他のコンテンツ関連識別子と比較させる。

【 0 0 0 5 】

ここで論じられる特徴、機能及び利点は、種々の実施形態で単独で達成可能であるか、以下の説明及び図面を参照してさらなる詳細が理解されるであろう別の実施形態で組み合わせることが可能である。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 6 】

【図1】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のシステムの図である。

【図2】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のユーザインターフェースの図である。

【図3】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のユーザインターフェースの図である。

【図4】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のユーザインターフェースの図である。

【図5】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のユーザインターフェースの図である。

【図6】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例の方法である。

10

20

30

40

50

【図7】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のワークフローである。

【図8】ここで開示される実施例を実施するために使用される、セキュリティ及び／又はアクセス権の種々の層を示す概略図である。

【図9】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のワークフローである。

【図10】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のユーザインターフェースの図である。

【図11】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のユーザインターフェースの図である。

【図12】ここで開示される実施例を実施するために使用される、実施例のユーザインターフェースの図である。

【図13】ここで開示される任意の又はすべての実施例の方法及びシステムを実施するために使用及び／又はプログラミングされる、実施例のプロセッサプラットフォームの概略図である。

【発明を実施するための形態】

【0007】

上述の図面及び以下の詳細な説明において、いくつかの実施例が示される。これらの実施例について述べる際に、類似又は一致する符号は、同一又は類似の要素を示すために使用される。これらの図面の縮尺比は必ずしも一定ではなく、これらの図面のいくつかのフィーチャ及びビューは、明瞭化及び簡潔化のために、縮尺比または概略図において誇張され示されることもある。さらに、いくつかの実施例が、本明細書全体で述べられる。任意の実施例からの任意のフィーチャは、他の実施例からの他のフィーチャに含まれ、他のフィーチャと交換され、又はそうでなければ他のフィーチャと組み合わせることができる。

【0008】

ここで開示される実施例は、コンテンツを電子的に発行するためのシステム及び方法に関する。コンテンツは、一又は複数のファイル、ドキュメント、URLと関連付けられる。ここで開示される実施例を使用して、コンテンツは複数回発行される（すなわち、重複される、複製される、など）ことが実質的に阻止され、効率的で確実なコンテンツ記憶が可能となる。また、ここで開示される実施例により、検索結果はコンテキストにウエイトが置かれ、これらの検索結果がセキュリティ整備された閲覧を提供可能にする（たとえば、そこへのアクセスが与えられた者によってのみ、コンテンツが閲覧可能となる）。ここで開示される実施例のグラフィカルインターフェースを使用して、ユーザ（たとえば、発行者）は、発行されるコンテンツを選択し、選択されたコンテンツがグループ化されるかどうかを示すことができる。もしコンテンツがグループ化されるのであれば、システムは、識別子及び／又はタグを生成し、且つコンテンツと関連付けることにより、コンテンツ（たとえば、種々のドキュメント、種々のURL）を関連付ける。

【0009】

コンテンツが複数回発行されないことを確実にするため、システムは選択されたコンテンツを審査及び／又はスキャニングし、第一のコンテンツ関連識別子（たとえば、ハッシュコード）を生成する。第一のコンテンツ関連識別子は、次いで、同じコンテンツがすでに発行されているかを判定するために、他のコンテンツ関連識別子と比較される。他のコンテンツ関連識別子は、発行されたコンテンツに関連付けられ、データベースに記憶される。比較に基づき、もしコンテンツがすでに発行されたとシステムが判定すれば、ユーザには、グラフィカルユーザインターフェース（たとえば、ダッシュボードタイプのインターフェース）を使用して、通知される。しかしながら、もしコンテンツがまだ発行されていないとシステムが判定すれば、ユーザは発行工程に進む。

【0010】

実施例のインターフェースを使用して、ユーザは権利をコンテンツに割り当て（たとえば、アプリケーションにファイルレベルのセキュリティを提供する）、コンテンツが輸出

10

20

30

40

50

規制され、及び／又は異なる又は他の制限を含む場合には、指示される。また、ユーザは、コンテンツ（たとえば、分配されたアクセスアドミニストレーション）のアクセス（たとえば、閲覧）が許されるだろう個人及び／又は団体を識別及び／又は選択することもできる。たとえば、選ばれた個人及び／又は団体は、エンティティのアメリカ人従業員、エンティティの非アメリカ人従業員、エンティティの及び／又は限定された分配リストから選択された非従業員とすることができます。ユーザは、また、コンテンツの所有者（たとえば、コンテンツを形成した人物及び／又はビジネスエンティティ）及びコンテンツ所有者に通知されるかを識別することもできる。コンテンツを発行するユーザは、所有者としてもよく、そうでなくてもよい。いくつかの実施例では、所有者及び／又は発行者は、発行前に及び／又は発行後に、コンテンツを編集又は修正（たとえば、コンテンツの一又は複数の部分を追加し、変更し、削除する）が許される。

【0011】

ここで述べられる実施例のインターフェースを使用して、ユーザ及び／又はシステムは、一又は複数のタグ、識別子、及び／又は外部のメタデータをコンテンツに追加し、コンテンツの配信（たとえば、動的コンテンツ配信）を促進し、及び／又はコンテンツを識別可能に（たとえば、輸出規制コンテンツ識別）、検索可能に、などとする。たとえば、メタデータ（たとえば、内部の、外部の）及び／又はメタデータの種類は、一又は複数の検索アルゴリズム、関連アルゴリズム及び／又はランク調整（たとえば、主題エキスパート適合構造メタデータ関連ランク調整）の組み合わせを使用して、ランク調整及び／又は修正された検索結果を可能にする。コンテンツは、ファイルネーム及び／又は一又は複数の制御タグ、供給者タグ、ピープルタグ、フリー・テキストタグ、コンテンツ種類のタグ、など、に基づき調整されたランクである。コンテンツは、発行のプロパティ及びコンテンツ、コンテンツ所有者、コンテンツ修正者、コンテンツ発行者などにより、索引を付けることができる。

【0012】

いくつかの実施例では、ユーザは、コンテンツが武器国際取引に関する規則（I T A R）及び／又は米国輸出規則（E A R）の対象であるかどうか、もしそうであるならば、輸出規制値及び／又は司法権利上の分類決定（J u r i s d i c t i o n a l a n d C l a s s i f i c a t i o n D e t e r m i n a t i o n （J C D））は何かに関する一又は複数のタグを作成することができる。ユーザ及び／又はシステムは、制御タグ、供給者タグ及び／又はピープルタグを追加し及び／又は検索することができる。制御タグは、オペレーション、コンソーシアム、大学研究、グローバルテクノロジーなどに関する専門語を含むことができる。供給者タグは、企業及び／又は大学エンティティ名を含むことができる。それぞれのタグを使用して識別された供給者及び／又はピープルは、コンテンツを選択されたピープル及び／又は供給者と関連するものとして識別できる。ユーザは、次いで、概要が完全で及び／又は正しいと再検討及び確認した後に、コンテンツを発行する。概要は、コンテンツの名前、コンテンツ所有者及び／又は発行者の名前、割り当てられた権利、追加されたタグなどを含むことができる。

【0013】

図1は、ここで開示される実施例が採用される実施例のシステム100を示す。実施例のシステム100は、データストア又はソース（たとえば、コンテンツ事業主）102及びシステム（たとえば、検索エンジン）104を備え、それらのどちらか一方は図13のプロセッサシステム1300などのプロセッサを使用して実施することができる。データソース102及システム104のうちの一方又は両方が、アクセス装置（たとえば、可視センター）106、108及び／又は110と相互作用することができる。いくつかの実施例では、データソース102及び／又はシステム104は、単独のシステム（たとえば、サーバファーム）で実施可能である。いくつかの実施例では、データソース102及び／又はシステム104は、アクセス装置106、108及び／又は110で全体的に又は部分的に実施することができる。データソース102及び／又はシステム104は、ネットワーク（たとえば、データポータル、シェアポイントなど）112を介して、アクセス

10

20

30

40

50

装置 106、108 及び / 又は 110 と通信する（たとえば、データを送受信する）ことができる。アクセス装置 106、108 及び / 又は 110 は、ネットワーク 112 を介して、データソース 102 及び / 又はシステム 104 と通信する（たとえば、データを送受信する）ことができる。たとえば、インターネット、イントラネット、プライベート又はパーソナルネットワーク、有線又は無線ローカルエリアネットワーク、有線又は無線ワイドエリアネットワーク、携帯電話ネットワーク及び / 又は任意の他の適するネットワークにより、ネットワーク 112 を実施することができる。

【 0014 】

アクセス装置 106、108 及び / 又は 110 は、ワークステーション（たとえば、ラップトップ、デスクトップ、タブレットコンピュータ、モバイルデバイスなど）及び / 又は図 13 のプロセッサシステム 1300 などのプロセッサを使用して、実施することができる。ここで開示される実施例を使用してユーザがコンテンツを発行できるように、アクセス装置 106、108 及び / 又は 110 及びデータソース 102 及び / 又はシステム 104 は、コンテンツが複数回発行されないことを確実にし、検索結果はコンテキストにウェイトを置き、これらの検索結果がセキュリティ整備されたビューを提供可能にするよう相互作用できる。たとえば、ユーザには、自由に入手でき、且つ興味のあるコンテンツの中で発行されたコンテンツのみが提示されてもよい。

【 0015 】

アクセス装置 106 を使用してコンテンツを発行するために、ユーザは、発行される第一のファイル又はドキュメントを選択し、第一のドキュメントが他のドキュメントとグループ化されないことを示すことができる。コンテンツ関連識別子は、選択された第一ドキュメントの再検討及び / 又はスキャニングに基づき生成される。コンテンツ関連識別子は、コンテンツがまだ発行されていないことを確実にするために、他のコンテンツ関連識別子と比較される。もしコンテンツがすでに発行されたと判定されると、ユーザに、アクセス装置 106 を介して通知される。

【 0016 】

いくつかの実施例では、再検討、スキャニング、識別子生成及び / 又は比較は、アクセス装置 106 を介して全体的に及び / 又は部分的に実行することができる。他の実施例では、第一のドキュメントは、アクセス装置 106 からデータソース 102 及び / 又はシステム 104 へ転送され、そこで、再検討、識別子生成及び / 又は比較が全体的に及び / 又は部分的に実行される。他のコンテンツ関連識別子は、発行されたコンテンツに関連付けられ、データソース 102 に記憶される。

【 0017 】

アクセス装置 106 を使用して、ユーザは第一のドキュメントの制限（たとえば、輸出規制）、及び第一のドキュメントにアクセスを許されるであろう個人及び / 又は団体を識別することができる。もし第一のドキュメントが輸出規制されるものとして、且つ非アメリカ人が第一のドキュメントを自由に入手できると識別されれば、データソース 102、システム 104 及び / 又はアクセス装置 106 は、ユーザにこのようなアクセスは許されないと通知することができる。アクセス装置 106 を使用して、ユーザは、第一のドキュメントのコンテンツ所有者、及び、たとえば、コンテンツ所有者に発行が通知されるかを識別することができる。

【 0018 】

アクセス装置 106 を使用して、ユーザは、第一のドキュメントと関連付けられる一又は複数のタグを追加することができる。タグはコンテンツ配信を促進し、及び / 又はコンテンツを識別可能及び / 又は検索可能とする。タグは、輸出規制、規制、制御タグ、供給者タグ及び / 又はピープルタグと関連してもよい。アクセス装置 106 を使用して、ユーザは、次いで、コンテンツ所有者、発行されるコンテンツ、割り当てられた権利及び / 又は追加されるタグなどが完全で及び / 又は正確であると確認した後に、第一のドキュメントを発行することができる。発行されたドキュメントは、データソース 102 及び / 又はシステム 104 にアクセス可能である及び / 又はそれらに記憶することができる。上述の

10

20

30

40

50

例はアクセス装置 106 を使用して述べられるが、任意の他のアクセス装置 108 及び／又は 110 が代わりに使用されてもよい。また、3 つのアクセス装置 106、108 及び 110 が示されるが、任意の他の数のアクセス装置が代わりに使用されてもよい（たとえば、1、2、4、5、など）。

【0019】

図 2 は、ここで開示される実施例を実施するために使用される、ユーザインターフェース 200 である。ユーザインターフェース 200 により、ユーザは、発行されるコンテンツを選択することができる。ユーザインターフェース 200 は、ユーザがコンテンツ（たとえば、一又は複数のファイル又ドキュメント、URL、など）を検索し、識別し及び／又は選択することを可能にするブラウザ 202 を備える。ユーザインターフェース 200 は、選択されたコンテンツがリストエリア 206 に追加されることを可能にする追加アイコン 204、及びユーザがリストエリア 206 から選択されたコンテンツの少なくともいくつかを削除することを可能にする削除アイコン 208 を備える。また、ユーザインターフェース 200 は、発行者（たとえば、ユーザ）を識別する識別エリア 210、コンテンツがグループ化されるか否か（たとえば、二以上のファイル、ドキュメントなどをグループ化する）をユーザが指示することを可能にするチェックボックス 212、及び一又は複数の規制情報リンク 214 を含んでもよい。

【0020】

操作の中で、ブラウザ 202 を使用して、ユーザは、第一のファイル又はドキュメントを選択し、次いで、追加アイコン 204 を選択する（たとえば、クリックする）ことにより、第一のドキュメントをリストエリア 206 に追加することができる。ブラウザ 202 を使用して、ユーザは、追加アイコン 204 を選択することにより、リストエリア 206 に追加される第二のファイル又はドキュメントも選択することができる。もし第一及び第二のファイル又はドキュメントがグループ化されるなら、ユーザはチェックボックス 212 を選択する。リストエリア 206 に追加される追加的なドキュメントがない場合には、ユーザは次のアイコン 216 を選択することができる。別 の方法では、もしコンテンツ発行に進まないことを選ぶなら、ユーザはキャンセルアイコン 218 を選択することができる。

【0021】

いくつかの実施例では、コンテンツが複数回発行されないのを確実にするため、ユーザが追加アイコン 204 を選択した後に、関連システム（たとえば、システム 104）はそれぞれの選択されたファイル又はドキュメントをスキャニングし、第一及び第二のコンテンツ関連識別子を生成する。また、第一及び第二のドキュメントがグループ化されるので、システム（たとえば、システム 104）は、識別子を第一及び第二のドキュメントに関連付け、それらの関連性を示す。システムは、生成された識別子を他のコンテンツ関連の識別子と比較し、同じコンテンツがすでに発行されたかを判定する。比較に基づき、もしコンテンツがすでに発行されたとシステムが判定すれば、ユーザには、ユーザインターフェース 200 及び／又は関連ポップアップウィンドーを使用して通知される。しかしながら、もしコンテンツがまだ発行されていないとシステムが判定すれば、ユーザは発行工程に進む。

【0022】

図 3 は、ここで開示される実施例を実施するために使用される、別のユーザインターフェース 300 である。ユーザインターフェース 300 により、図 2 の実施例のユーザインターフェース 200 を介して選択されたコンテンツに権利を割り当てることができる。図 3 の実施例のユーザインターフェース 300 は、選択されたコンテンツがリストアップされる選択されたコンテンツリスト 302 を備えることができる。また、実施例のユーザインターフェース 300 は、コンテンツ所有者エリア 304 及びアクセス権エリア 305 も備える。コンテンツ所有者エリア 304 は、コンテンツ所有者を識別可能とするコンテンツ所有者ブラウザ及び／又は識別子 306、及びコンテンツ所有者が発行を通知されるかをユーザが示すことのできるチェックボックス 308 を備える。アクセス権エリア 30

5 は、誰がコンテンツのアクセス権を有するのかを示す複数のアイコンを有する。アイコンは、企業アメリカ人アイコン 314、企業非アメリカ人アイコン 316、非企業アイコン 318 及び限定された分配リストアイコン 320 を含むことができる。しかしながら、コンテンツへのアクセス権所持を選択可能な追加的な及び / 又は異なるエンティティを表す追加的な及び / 又は異なるアイコンは、特定のアプリケーションのニーズに合わせて提供される。実施例のユーザインターフェース 300 は、発行されるコンテンツが一又は複数の規制 (たとえば、輸出規制) によって管理されるかどうかの判定支援をユーザが選択できる一又は複数の規制リンク 321 も備えることができる。

【0023】

操作において、ユーザは、コンテンツ所有者ブラウザー 306 を使用してコンテンツ所有者を識別することができ、且つコンテンツ所有者に発行及び / 又は後続の修正が通知される場合には、チェックボックス 308 を選択することができる。また、ユーザは、一又は複数のアイコン 314 320 を選択することによって、どの個人、団体及び / 又はエンティティがコンテンツへのアクセス権を持つか (たとえば、誰がコンテンツにアクセス及び / 又はそれを閲覧できるか) も選択することができる。所有者及び / 又はアクセス権を有する人々が識別されると、ユーザは次のアイコン 322 を選択することができる。別の方法では、ユーザは、図 2 の実施例のユーザインターフェース 200 に戻るために戻るのアイコン 324 を選択することができ、または、もしユーザがコンテンツの発行に進まないことを選ぶなら、キャンセルアイコン 326 を選択することができる。

【0024】

図 4 は、ここで開示される実施例を実施するために使用される、別のユーザインターフェース 400 である。図 4 の実施例のユーザインターフェース 400 は、タグがコンテンツに追加され、コンテンツ配信の促進を可能にする。図 4 の実施例のユーザインターフェース 400 は、選択されたコンテンツリスト 402、保存日データセレクター 403、及び対応するコンテンツが発行及び / 又は報告される (たとえば、コンテンツはレポートとして指示される) ことを示すために選択可能なチェックボックス 404 を備える。また、実施例のユーザインターフェース 400 は、規制エリア 406、供給者エリア 408、制御タグエリア 410 及び人物識別子エリア 412 を備える。

【0025】

この実施例では、規制エリア 406 は、I T A R ラジオボタン及び / 又はチェックボックス 413、E A R ラジオボタン及び / 又はチェックボックス 414、輸出規制エントリーフィールド 416、J C D エントリーフィールド 418 及び非輸出規制ラジオボタン及び / 又はチェックボックス 420 を含む。供給者エリア 408 は、検索フィールド 422 を含み、ユーザが特定のエンティティ及びユーザ選択のエンティティ名のリストを含むエンティティリストエリア 424 を迅速に検索可能にする。また、供給者エリア 408 は、選択された企業エンティティを供給者リストエリア 428 に追加できる追加アイコン 426、及びユーザがリストエリア 428 から一又は複数の選択されたエンティティを削除できる削除アイコン 430 を備える。供給者エリア 408 は、供給者のリストに以前リストアップされていない供給者をユーザが追加できるアイコン 431 も含む。制御タグエリア 410 は複数のタグ 433 を含み、それらは 2 の状態ボタンをクリックすることにより選択される。2 の状態ボタンは、選択されると色が変わるボタンとすることができます。たとえば、選択されていない状態では、ボタンは青い輪郭線、青いレタリング及び白い塗りつぶしであり、選択された状態では、ボタンは白いレタリングの青い塗りつぶしである。エントリーフィールド 432 により、発行者が、発行されるコンテンツに関連付けられた一又は複数のフリー テキストのタグ (たとえば、発行者作成タグ) に入力できる。人物識別子エリア 412 は、検索フィールド及び / 又はエントリーフィールド 434 を含み、コンテンツと関連付けられる人物をリストアップ及び識別する。

【0026】

操作において、ユーザは、チェックボックス 404 を選択することにより、選択されたコンテンツのどれがレポートとして識別されるかを識別することができる。いくつかの例

10

20

30

40

50

では、選択されないコンテンツは選択されたレポートに対する指示ドキュメントとすることができる。ユーザは、データを選択する及び／又はデータを規制エリア406のアイコン又はデータフィールドに追加することにより、もしあれば、何の制限がコンテンツに関連付けられるかを識別できる。ユーザは、供給領域408のアイコンを選択することにより、もしあれば、どの供給者がコンテンツに関連付けられるかを選択できる。ユーザは、データを選択する及び／又はデータをアイコン又は制御タグエリア410のデータフィールドに追加することにより、もしあれば、どの制御タグがコンテンツに関連付けられるかを選択することができる。ユーザは、データを選択する及び／又はデータを人物識別子エリア412のデータフィールドに追加することにより、もしあれば、どのピープルタグがコンテンツに関連付けられるべきかを選択することができる。タグが識別された後に、ユーザは次へのアイコン436を選択することができる。別の方では、ユーザは、戻るのアイコン438を選択して図3の実施例のユーザインターフェース300に戻ることができる、または、もしユーザがコンテンツの発行に進まないことを選ぶなら、キャンセルアイコン440を選択することができる。

【0027】

図5は、ここで開示される実施例を実施するために使用される、別のユーザインターフェース500を示す。図5の実施例のユーザインターフェース500は、コンテンツが発行されるのに先立って、情報を確認可能にする。実施例のユーザインターフェース500は、選択されたコンテンツ502、保存日504、規制506、割り当てられた権利（たとえば、コンテンツ所有者、アクセス権）508、及びタグ（たとえば、制御タグ、供給者タグ、フリーテキストタグ）510を識別する。リストアップされた情報が正確であると確認すると、ユーザは発行アイコン512を選択することができる。別の方では、ユーザは、戻るのアイコン514を選択して図4の実施例のユーザインターフェース400に戻ることができ、または、もしユーザがコンテンツの発行に進まないことを選ぶなら、キャンセルアイコン516を選択することができる。

【0028】

図1のシステム100などのここで開示される実施例を実施する方法が図6に示されているが、一又は複数の要素、図6に示される工程及び／又は装置は、任意の他の方法で、組み合わされ、分割され、再配置され、省略され、除去され及び／又は実施されてもよい。さらに、データソース102、システム104、アクセス装置106及び／又は、より一般的に、図6の実施例の方法600は、ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア及び／又はハードウェア、ソフトウェア及び／又はファームウェアの任意の組み合わせで実施することができる。それゆえ、データソース102、システム104、アクセス装置106及び／又は、より一般的に、図6の実施例の方法600は、は、一又は複数の回路、プログラム可能なプロセッサ、特定用途向け集積回路（ASIC）、プログラム可能な論理デバイス（PLD）及び／又はフィールドプログラム可能な論理デバイス（FPLD）などにより実施することができる。本特許の任意の装置又はシステムの請求の範囲は、システムは完全なソフトウェア及び／又はファームウェアの実施の範囲に及ぶと読めるが、データソース102、システム104及び／又はアクセス装置106のうちの少なくとも一は、例えばメモリ、DVD、CD、BluRayなど、ソフトウェア及び／又はファームウェアを記憶する有形コンピュータ可読媒体を含むと、ここでは明確に定義される。さらに、図6の実施例の方法600は、図6に示されたものに加え、又はそれらの代わりに、一又は複数の要素、工程及び／又は装置を備えることができ、任意の又はすべての示された要素、工程及び装置のうちの複数を備えることができる。

【0029】

データソース102、システム104及び／又はアクセス装置106を実施するための実施例の方法600を代表するフローチャートが、図6に示される。この例では、方法600は、図13に関連して以下で述べられる実施例のコンピュータ1300で示されるプロセッサ1302などのプロセッサにより実行されるプログラムを含む。プログラムは、CD-ROM、フロッピーディスク、ハードドライブ、デジタル多用途ディスク（DVD）

10

20

30

40

50

)、Blu Rayディスク、又はプロセッサ1302と関連付けられたメモリなどの有形コンピュータ可読媒体に記憶されたソフトウェアで実施することができるが、プログラム全体及び/又はその部分は、プロセッサ1302以外の装置によって代替的に実行することができ、及び/又はファームウェア又は専用のハードウェアで実施することができる。さらに、実施例のプログラムは、図6に示されたフローチャートを参照にして述べられているが、実施例のデータソース102、システム104及び/又はアクセス装置106を実施する多くの他の方法を代替的に使用することもできる。たとえば、ブロック実行の順番が変更されたり、及び/又は、述べられたブロックのうちの幾つかが変更されたり、省略されたり、又は組み合わされたりしてもよい。

【0030】

10

上述のように、任意の継続時間に(たとえば、延長時間内に、永続的に、短時間に、一時的なバッファリング期間に、及び/又は情報のキャッシング期間に)情報を記憶できる、例えば、ハードディスクドライブ、フラッシュメモリ、読み出し専用メモリ(ROM)、コンパクトディスク(CD)、デジタル多用途ディスク(DVD)、キャッシング、ランダムアクセスメモリ(RAM)及び/又は任意の他の記憶媒体などの、有形コンピュータ可読媒体上に記憶されたコード化された命令(たとえば、コンピュータ可読命令)を使用して、図6の操作を実施することができる。ここで使用されるように、期間有形コンピュータ可読媒体は、任意の種類のコンピュータ可読記憶装置を含み、伝搬信号を除外すると明確に定義される。追加的に又は代替的には、任意の継続時間に(たとえば、延長時間内に、永続的に、短時間に、一時的なバッファリング期間に、及び/又は情報のキャッシング期間に)情報を記憶できる、例えばハードディスクドライブ、フラッシュメモリ、読み出し専用メモリ、コンパクトディスク、デジタル多用途ディスク、キャッシング、ランダムアクセスメモリ及び/又は任意の他の記憶媒体などの、固定コンピュータ可読媒体上に記憶されたコード化された命令(たとえば、コンピュータ可読命令)を使用して、図6の操作を実施することができる。ここで使用されるように、期間固定コンピュータ可読媒体は、任意の種類のコンピュータ可読記憶媒体を含み、伝搬信号を除外すると明確に定義される。ここで使用されるように、「少なくとも」という表現が請求の範囲の前置きで移行表現として使用されるとき、「含む」という言葉と同様に、それには容易に変更可能である。それゆえ、前置きで移行表現として「少なくとも」を使用する請求の範囲は、請求の範囲で明確に列挙されているもの他に要素を含むことができる。

20

【0031】

30

ユーザはまず発行されるコンテンツを選択する(ブロック602)。コンテンツは単独のファイル、多数のファイル及び/又は一又は複数のURL内にありうる。コンテンツが再検討され、関連するコンテンツ識別子が生成される(ブロック604)。コンテンツ識別子が他のコンテンツ識別子と比較され、コンテンツが以前に発行されたものであるかが判定される(ブロック606)。もしコンテンツが以前に発行されたものであるなら、ユーザにはコンテンツが以前に発行されたことが通知される(ブロック607)。もしそうでなければ、ユーザは選択されたコンテンツがグループ化されるかを判定し(たとえば、複数のファイルを関連付ける)(ブロック608)、もしそうであるなら、選択されたコンテンツはグループ化される(ブロック610)。

40

【0032】

次いで、ユーザは何の権利がコンテンツに割り当てられるのかを判定し(ブロック612)、権利はブロック614でコンテンツに割り当てられる。割り当てられた権利は、コンテンツに関連付けられ、コンテンツを自由に入手でき、及び/又はコンテンツを閲覧できるコンテンツ所有者及び/又は個人及び/又は団体を識別することを含む。ユーザは、非アメリカ人が権利を割り当てられるかを示し(ブロック616)、もしそうであるなら、コンテンツは制限(たとえば、輸出規制)を含むかを示す(ブロック618)。もし非アメリカ人が権利を割り当てられ且つコンテンツが制限を含むことをユーザが示すなら、ユーザにはそのようなアクセスが認められないことが通知される(ブロック620)。

【0033】

50

次いで、ユーザは、一又は複数のタグがコンテンツに追加されるかを判定する（ブロック 622）。もしそうであるなら、一又は複数のタグはコンテンツに追加される（ブロック 624）。タグは、ピープルタグ、制御タグ、保存日、フリーテキストタグ、コンテンツの種類及び／又は制限（たとえば、輸出規制される、輸出規制されないなど）を含んでもよい。ユーザは、次いで、コンテンツ及び関連データが正しいことを証明する（ブロック 626）。たとえば、ユーザは、発行されるファイルが正しい、輸出規制ステータスが正しい、コンテンツ所有者が正しい、アクセス権が正しい、保存日が正しい及び／又はタグが正しいことを証明する。ユーザは、次いで、コンテンツをアクティブライブライブラリーに追加する（ブロック 628）。

【0034】

10

図7は、ここで述べられる実施例のシステムを使用して実施されるワークフロー700を示す。一又は複数の要素、図7に示される工程及び／又は装置は、任意の他の方法で、組み合わされ、分割され、再配置され、省略され、除去され及び／又は実施されてもよい。ブロック702では、ユーザがプログラムを開始し、ブロック704では、ユーザが発行されるコンテンツを選択することができる。ブロック706では、ユーザが権利をコンテンツに割り当て、ブロック708では、ユーザが一又は複数のタグをコンテンツに追加することができる（たとえば、外部のメタデータ）。ブロック710では、ユーザが選択されたコンテンツ、割り当てられた権利、追加されたタグなどの精度を確認することができ、且つ、ブロック712では、ユーザがコンテンツをアクティブライブライブラリーに追加することができる。図示されたように、ユーザは、一又は複数のコンテンツ、分類、及び／又はカテゴリー、割り当てられた権利、追加されたタグ、及び／又は表示されたデータを定義及び／又はカスタマイズすることができる。さらに、図示されてはいないが、ユーザはコンテンツ及び関連付けられたフィールド（たとえば、タグなど）がデータ構造にどのように記憶されるかを定義及び／又はカスタマイズすることができる。それゆえ、ここで開示される実施例を使用して、ユーザ（たとえば、顧客）は、ユーザの特定の好み及び／又はニーズに基づき、ファイル、ドキュメント、URLなどがどのように扱われ、所有され、表示され、発行され、記憶されるなどをカスタマイズすることができる。

20

【0035】

図8は、セキュリティ及び／又はアクセス権800の種々の層を示す線図である。第一の層802はファイルレベルアクセス権に関連付けられ、第二の層804はシステムアクセティビティ検査に関連付けられ、第三の層806は、コンテンツレベルアクセス権に関連付けられる。第四の層808は隔離／輸出規制に関連付けられ、第五の層810は外部メタデータと関連付けられ、第六の層812は発行されたコンテンツ及び／又は内部のメタデータに関連する。しかしながら、セキュリティ及び／又はアクセス権の追加的な及び／又は種々の層を表す追加的な及び／又は種々の層は、特定のアプリケーションのニーズに合うように提供することができる。

30

【0036】

図9は、ここで述べられる実施例のシステムを使用して実施されるワークフロー900を示す。一又は複数の要素、図9に示される工程及び／又は装置は、任意の他の方法で、組み合わされ、分割され、再配置され、省略され、除去され及び／又は実施されてもよい。ブロック902は発行工程に対応し、ブロック904はコンテンツがどのように記憶されるかに対応し、ブロック906はコンテンツがどのように検索されるかに対応し、ブロック908はコンテンツがどのように配信されるかに対応する。

40

【0037】

図10は、ここで開示される実施例を実行するために使用される、ユーザインターフェース1000を示す。ユーザインターフェース1000により、ユーザは、発行されるコンテンツを選択することができる。ユーザインターフェース1000は、ユーザがコンテンツ（たとえば、一又は複数のファイル又はドキュメント、など）を検索し、識別し及び／又は選択することを可能にするブラウザー1002を備える。また、ユーザインターフェース1000は、ユーザが発行されるURLを識別する領域1006、及びユーザが識

50

別されたURLのディスプレイ名をインプットするネーミングエリア1008を含むURL識別エリア1004を含む。ユーザインターフェース1000は、コンテンツがグループ化されるか否か(たとえば、2以上のファイル、ドキュメントなど)をユーザが示すことができるチェックボックス1010を含んでもよい。

【0038】

操作において、ブラウザー1002を使用して、ユーザは、第一のファイル又はドキュメントを選択し、次いで、第一のドキュメントを選択する(たとえば、クリックする)ことにより、第一のドキュメントをリストエリア1012に追加する。ブラウザーURL識別エリア1006を使用して、ユーザは、領域1006及び/又はネーミングエリア1008でURLを識別し、且つ追加URLアイコン1014を選択することによりリストエリア1012に追加されるURLを選択することもできる。もし第一及び第二のファイル又はドキュメントがグループ化されるなら、ユーザはチェックボックス1010を選択する。リストエリア1012に追加される追加的なドキュメントがない場合には、ユーザは次へのアイコン1016を選択することができる。別の方法では、コンテンツ発行に進まないことを選べば、ユーザはキャンセルアイコン1018を選択することができる。

【0039】

いくつかの実施例では、ファイル、ドキュメント及び/又はURLがリストエリア1012に追加された後にコンテンツが複数回発行されないのを確実にするため、関連システム(たとえば、システム104)はそれぞれ選択されたファイル又はドキュメントをスキヤニングし、第一及び第二のコンテンツ関連識別子を生成する。また、第一及び第二のドキュメントがグループ化されるので、システム(たとえば、システム104)は、識別子を第一及び第二のドキュメントに関連付け、それらの関連性を示す。システムは、生成された識別子を他のコンテンツ関連の識別子と比較し、同じコンテンツがすでに発行されたかを判定する。比較に基づき、もしコンテンツがすでに発行されたとシステムが判定すれば、ユーザインターフェース1000及び/または関連ポップアップウィンドーを使用して、ユーザに通知される。しかしながら、もしコンテンツがまだ発行されていないとシステムが判定すれば、ユーザは発行工程に進む。

【0040】

図11は、ここで開示される実施例を実施するために使用される、別の実施例のユーザインターフェース1100を示す。図11の実施例のユーザインターフェース1100により、コンテンツに追加されるタグがコンテンツ配信を促進可能にする。図11の実施例のユーザインターフェース1100は、選択されたコンテンツリスト1102、保存日セレクター1106、メニュー1108を含み、ドキュメントの種類が選択及び/又は識別される。この例では、ドキュメントは、レポート、クオードチャート、分析、コラボレーションブック、ゲートレビュー又はサポート資料として識別することができる。また、実施例のユーザインターフェース1100は、規制エリア1110、供給者エリア1112及び制御タグエリア1114も備えることができる。

【0041】

この実施例では、規制エリア1110は、ITARラジオボタン及び/又はチェックボックス1116、EARラジオボタン及び/又はチェックボックス1118、輸出規制値エントリーフィールド1120、JCDエントリーフィールド1122及び非輸出規制ラジオボタン及び/又はチェックボックス1124を含む。供給者エリア1112は、検索フィールド1126を含み、特定のエンティティ及びユーザ選択のエンティティ名のリストを含むエンティティリストエリア1128をユーザが迅速に検索できるようにする。供給者エリア1112は、選択された企業エンティティが供給者リストエリア1132に追加可能とする追加アイコン1130、及びユーザが供給者リストエリア1132から選択されたエンティティの一又は複数を削除可能とする削除アイコン1134を備える。供給者エリア1112は、ユーザが供給者のリストに以前リストアップされていない供給者を追加可能にするアイコン1136も含む。制御タグエリア1114は、複数のタグ1138を含み、これらは2の状態ボタンをクリックすることにより選択される。エントリーフ

イールド 1140 により、発行者は、発行されるコンテンツに関連付けられた一又は複数のフリーテキストのタグ（たとえば、発行者作成タグ）を入力できる。

【0042】

操作において、ユーザは、メニュー 1108 を使用して、選択されたコンテンツの種類を識別することができる。ユーザは、データを選択する及び／又はデータを規制エリア 1110 のアイコン又はデータファイルに追加することにより、もしあれば、何の制限がコンテンツに関連付けられるかを識別できる。ユーザは、供給者エリア 1112 のアイコンを選択することにより、もしあれば、どの供給者がコンテンツに関連付けられるべきかを選択することができる。ユーザは、データを選択する及び／又はデータを制御タグエリア 1114 のアイコン又はデータフィールドに追加することにより、もしあれば、どの制御タグがコンテンツに関連付けられるかを選択することができる。タグが識別された後に、ユーザは次のアイコン 1142 を選択することができる。別 の方法では、ユーザは、戻るのアイコン 1144 を選択して図 10 の実施例のユーザインターフェース 1000 に戻ることができ、または、もしユーザがコンテンツの発行に進まないことを選ぶなら、キャンセルアイコン 1146 を選択することができる。

10

【0043】

図 12 は、ここで開示される実施例を実施するために使用することができる、別の実施例のユーザインターフェース 1200 を示す。図 12 の実施例のユーザインターフェース 1200 は、コンテンツが発行されるのに先立って、情報確認を可能にする。実施例のユーザインターフェース 1200 は、選択されたコンテンツ 1202、保存日 1204、規制 1206、割り当てられた権利（たとえば、コンテンツ所有者、アクセス権）1208、及びタグ（たとえば、制御タグ、供給者タグ、フリーテキストタグ）1210 を識別する。リストアップされた情報が正確であると確認すると、ユーザは発行アイコン 1212 を選択することができる。別 の方法では、ユーザは、図 11 の実施例のユーザインターフェース 1100 に戻るために戻るのアイコン 1214 を選択することができ、または、もしユーザがコンテンツ発行に進まないことを選ぶなら、キャンセルアイコン 1216 を選択することができる。

20

【0044】

図 13 は、図 1 のアクセス装置 106、108 及び／又は 110、システム 104 及び／又はデータソース 102、又はここで開示される任意の実施例を実施するための、図 6 の命令を実行可能な実施例のプロセッサシステム 1300 のブロック図である。図 13 に示すように、プロセッサシステム 1300 は、相互接続バス 1304 に結合されたプロセッサ 1302 を備える。プロセッサ 1302 は、任意の適するプロセッサ、プロセシングユニット又はマイクロプロセッサとしてもよい。図 13 に示されるように、プロセッサシステム 1300 は、マルチプロセッサシステムとすることができます、ゆえに、プロセッサ 1302 と同一の又は類似であり、且つ相互接続バス 1304 に通信的に結合された一又は複数の追加的なプロセッサを含むことができる。

30

【0045】

図 13 のプロセッサ 1302 は、チップセット 1306 に結合され、メモリコントローラ 1308 及び入力／出力（I/O）コントローラ 1310 を含む。周知のとおり、チップセットは、複数の汎用及び／又は特殊用途レジスタ、タイマーなどに加え、チップセット 1306 に結合される一又は複数のプロセッサによりアクセス可能な又は使用される I/O 及びメモリ管理機能を一般的に提供する。メモリコントローラ 1308 は、プロセッサ 1302（又は、複数のプロセッサがある場合には、複数のプロセッサ）がシステムメモリ 1312 及び大量記憶メモリ 1314 にアクセス可能な機能を実行する。

40

【0046】

システムメモリ 1312 は、たとえば、スタティックランダムアクセスメモリ（SRAM）、ダイナミックランダムアクセスメモリ（DRAM）、フラッシュメモリ、読み出し専用メモリ（ROM）など、任意の所望の種類の揮発性及び／又は不揮発性メモリを備えることができる。大量記憶メモリ 1314 は、ハードディスクドライブ、光ドライブ、テー

50

記憶装置などを含む任意の所望の種類の大量記憶装置を備える。

【0047】

I/Oコントローラ1310は、プロセッサ1302が、I/Oバス1322を介して周辺機器入力/出力(I/O)装置1316及び1318並びにネットワークインターフェース1320と通信を可能にする機能を実行する。I/O装置1316及び1318は、たとえば、キーボード、ビデオディスプレー又はモニタ、マウスなどの任意の所望の種類のI/O装置とすることができます。ネットワークインターフェース1320は、プロセッサシステム1300を別のプロセッサシステムと通信可能にする、イーサネット装置、非同期転送モード(ATM)装置、802.11装置、DSLモデム、ケーブルモデム、セルラーモデムなどとすることができます。

10

【0048】

メモリコントローラ1308及びI/Oコントローラ1310がチップセット1306内の別個のブロックとして図13に示されているが、これらのブロックにより実行される機能は、単独の半導体回路内に統合され、又は2以上の別個の統合された回路を使用して実行されうる。

【0049】

コンテンツを発行する特定の実施例を先述したが、ここで開示される実施例は、より一般的に及び/又は異なる方法でも適用可能である。たとえば、ここで開示される実施例は、ユーザ及び/又はエンティティがデータ及び/又はコンテンツのカスタマイズを可能にする、及び/又は検索エンジン及び/又はシェアポイントのカスタマイズを可能にする。さらに、コンテンツのセキュリティ整備された配信を可能にするためにコンテンツへの権利の割り当てが先述されたが、ここで開示される実施例は、より一般的に及び/又は異なる方法でも適用可能である。たとえば、ここで開示される実施例は、メタデータ(たとえば、外部の、内部の)のコンテンツ(たとえば、一又は複数のファイル、ドキュメント、URL)などへの関連付けに適用可能であり、その分類、カテゴリー化及び/又は目標とされる検索結果が、ユーザの検索している関連コンテンツを提供可能とする。このようなコンテンツは、たとえば、著作権を有するデータ、初期のデザインデータ、プロトタイプデータ、プロジェクトデータに関連付けられてもよい。

20

【0050】

さらに、いくつかの実施例の方法、装置及び製品がここで説明されてきたが、本特許の及ぶ範囲はこれに限定されない。そうではなく、本特許は、文字通り又は同等物の教義のもと、添付の請求の範囲に適正に含まれるすべての方法、装置及び製品の範囲に及ぶ。

30

また、本願は以下に記載する態様を含む。

(態様1)

コンテンツ選択を受信するステップ、

コンテンツに割り当てられた権利の選択を受信するステップ、

一又は複数のタグの選択を受信するステップ、及び

コンテンツを割り当てられた権利及びタグと関連付けて、コンテンツのセキュリティ整備されランク調整された検索結果を可能にするステップを含む、方法。

40

(態様2)

タグは、コンテンツが対象とされる規制、供給者タグ、制御タグ、又は個人のタグのうちの一又は複数に関連付けられる、態様1に記載の方法。

(態様3)

割り当てられた権利は、コンテンツにアクセス可能とされるコンテンツ所有者、個人又は団体のうちの少なくとも一を含む、態様1に記載の方法。

(態様4)

コンテンツを割り当てられた権利及びタグに関連付けるステップは、コンテンツのコンテキストにウエイトを置いた検索結果を可能にする、態様1に記載の方法。

(態様5)

コンテンツをスキャニングするステップ、及び第一コンテンツ関連識別子を生成するス

50

ステップをさらに含む、態様 1 に記載の方法。

(態様 6)

コンテンツが以前に発行されたことがあるかを判定すべく、第一のコンテンツ関連識別子が他のコンテンツ関連識別子の一と実質的に同一であるかを判定するために、第一のコンテンツ関連識別子を他のコンテンツ関連識別子と比較するステップをさらに含む、態様 5 に記載の方法。

(態様 7)

コンテンツを発行するステップをさらに含む、態様 1 に記載の方法。

(態様 8)

コンテンツにアクセス可能とされるコンテンツ所有者、個人、又は団体の一又は複数の精度の確認を受信した後に、コンテンツが発行されるとする、態様 3 に記載の方法。

10

(態様 9)

コンテンツにアクセス可能とされる団体は、エンティティのアメリカ人従業員、エンティティの非アメリカ人従業員、エンティティの非従業員、又は限定された分配リストから選択された個人のうちの一又は複数を含む、態様 3 に記載の方法。

(態様 10)

少なくともコンテンツ所有者又はコンテンツ発行者がコンテンツを修正することを可能にするステップをさらに含む、態様 3 に記載の方法。

(態様 11)

コンテンツ所有者、コンテンツ修正者、又はコンテンツ発行者のうちの一又は複数に基づき、コンテンツに索引をつけるステップをさらに含む、態様 3 に記載の方法。

20

(態様 12)

規制は、一又は複数の輸出規制を含む、態様 2 に記載の方法。

(態様 13)

一又は複数の識別子を選択されたコンテンツ及び他のコンテンツと関連付けることにより、コンテンツを他のコンテンツとグループ化するステップをさらに含む、態様 1 に記載の方法。

(態様 14)

コンテンツが対象とされる規制に基づき、個人又は団体によるコンテンツへのアクセスを実質的に阻止するステップをさらに含む、態様 2 に記載の方法。

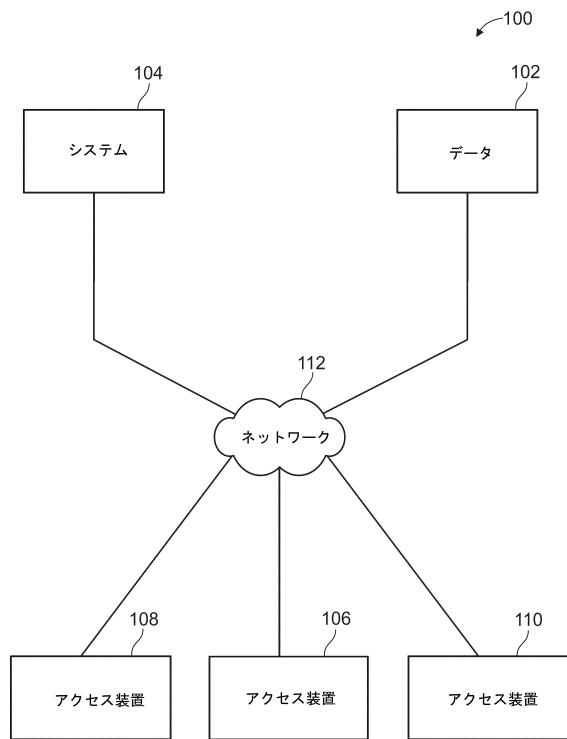
30

(態様 15)

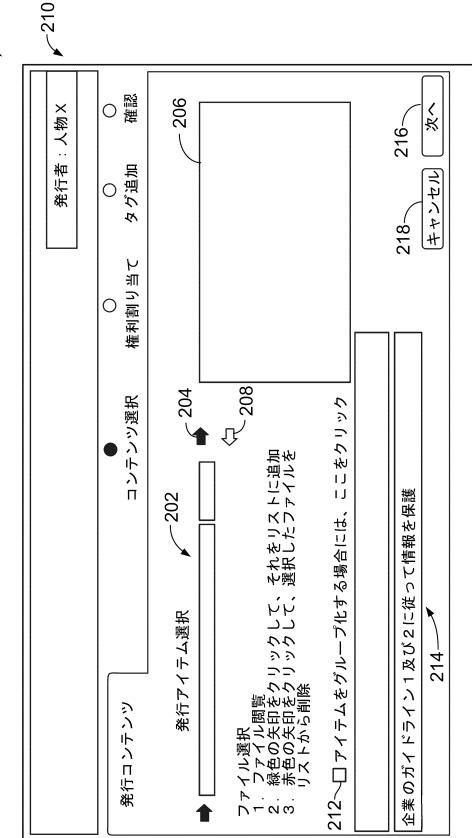
コンテンツの選択、コンテンツに割り当てられた権利の選択、及び一又は複数のタグを受信するアクセス装置であって、割り当てられた権利は、コンテンツにアクセス可能とされるコンテンツ所有者、個人又は団体のうちの少なくとも一、コンテンツが対象とされる一又は複数の規制に関連付けられたタグ、供給者タグ、制御タグ、又は個人のタグを含むことを特徴とするアクセス装置、及び

コンテンツを割り当てられた権利及び一又は複数のタグに関連付けて、コンテンツのセキュリティ整備されランク調整された検索結果を可能にするプロセッサを備える、装置。

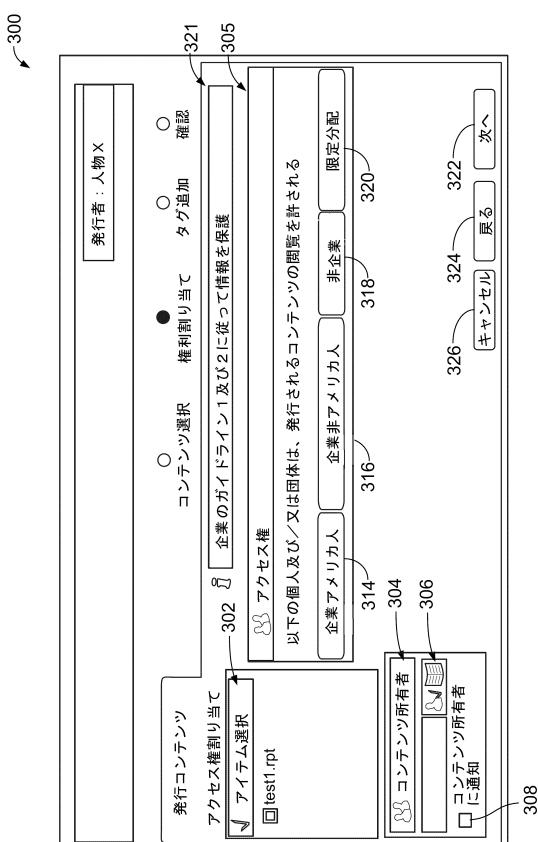
【 図 1 】



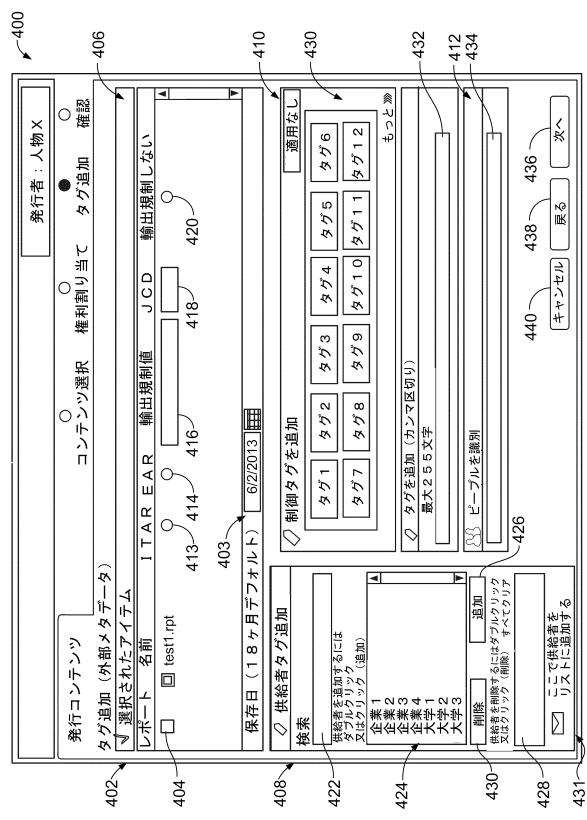
【 四 2 】



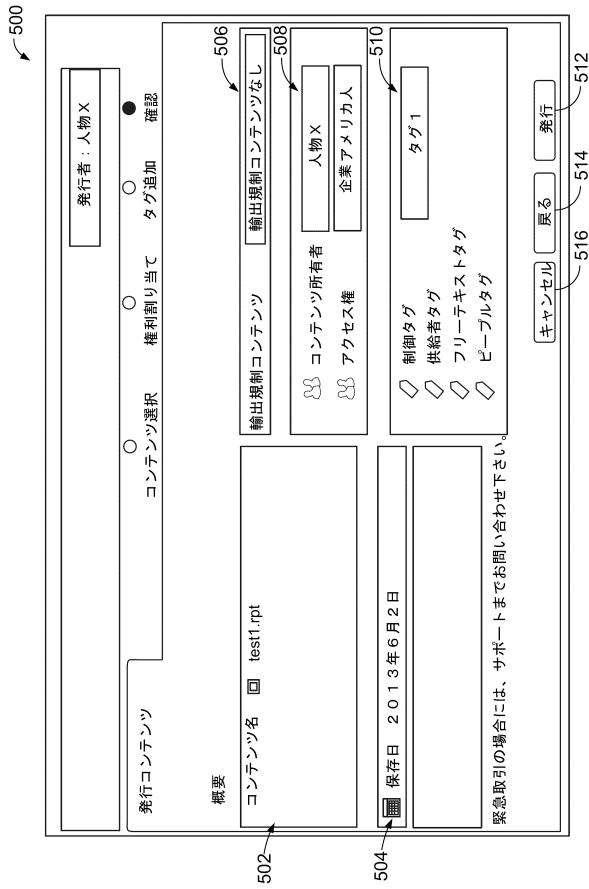
【 図 3 】



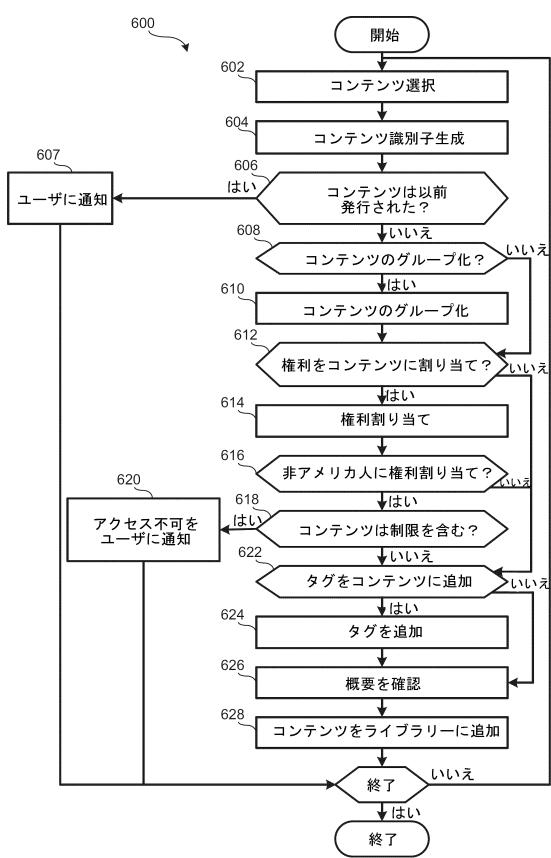
【 义 4 】



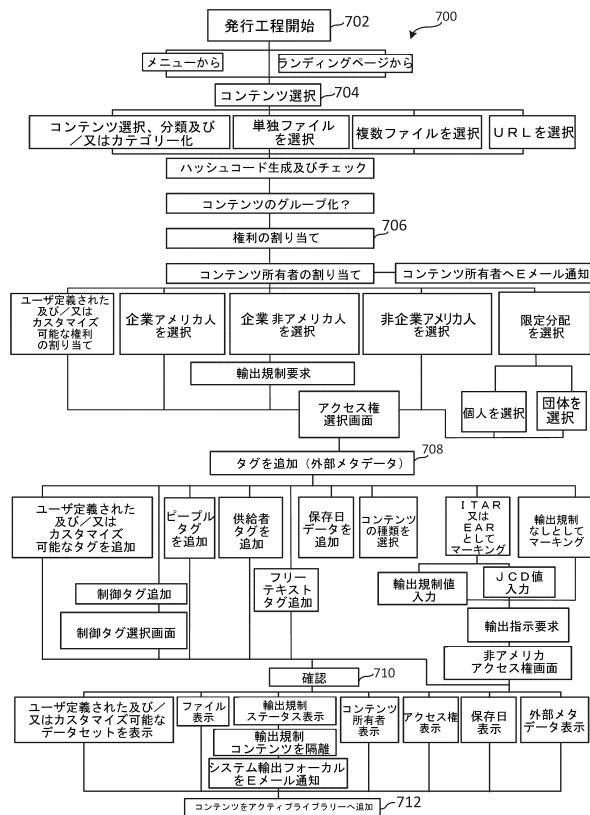
【 図 5 】



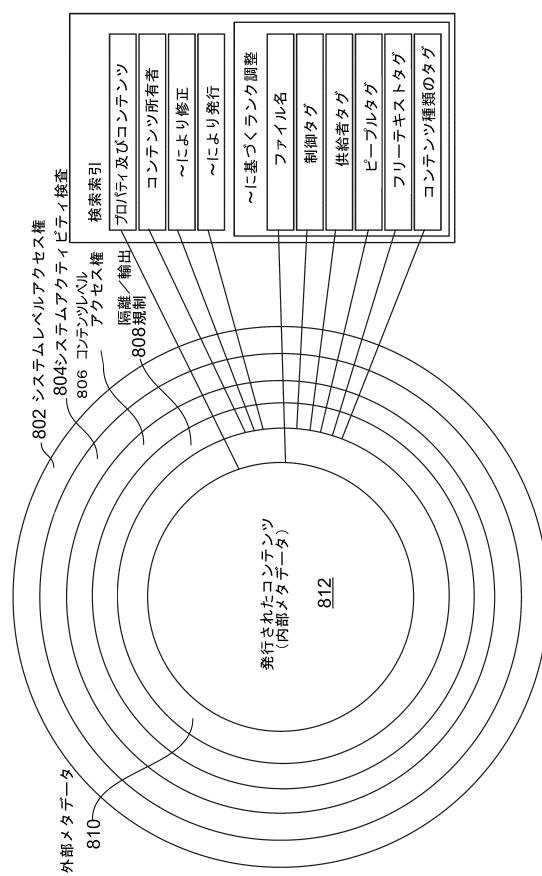
【 四 6 】



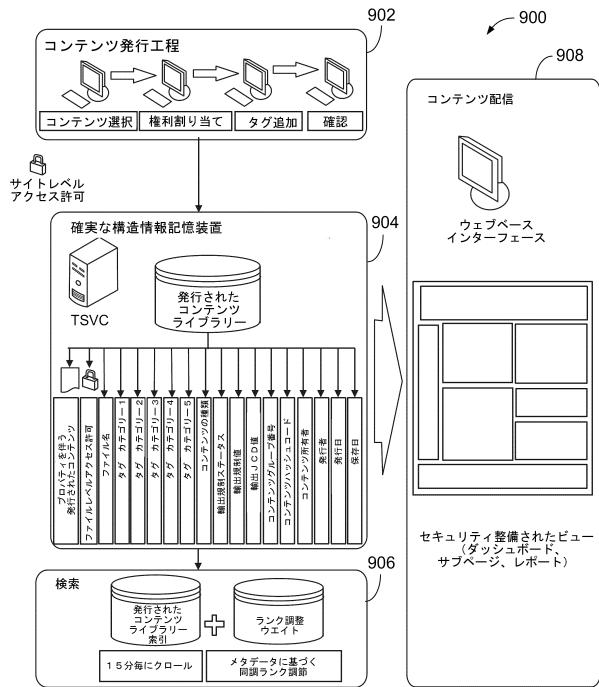
【図7】



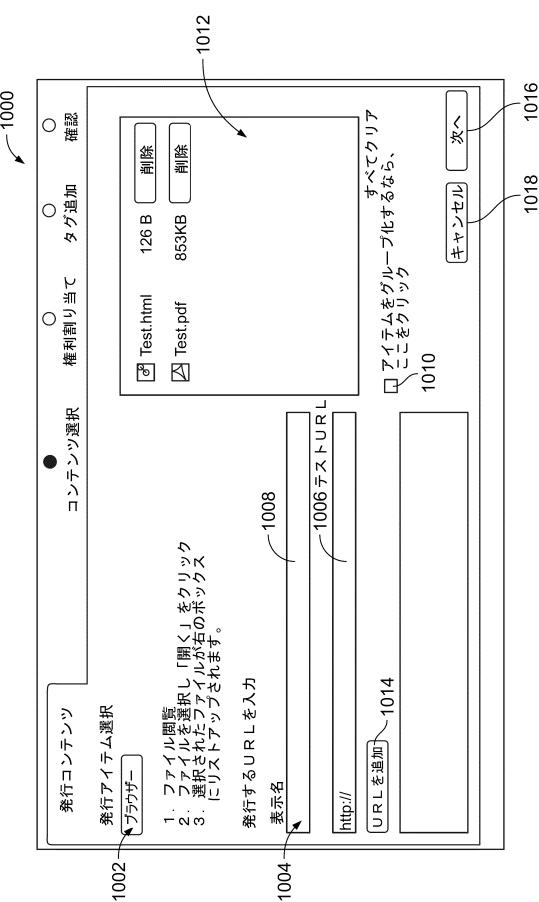
【 义 8 】



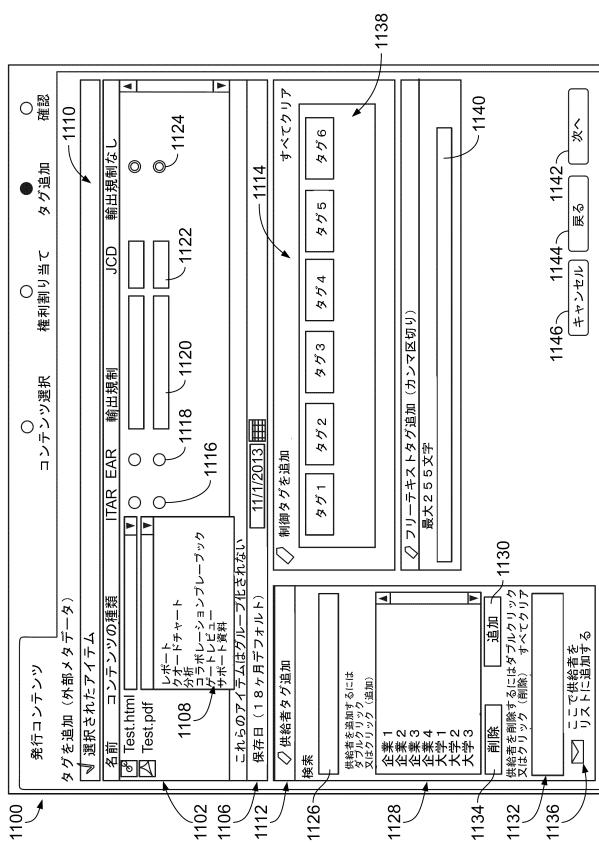
【図9】



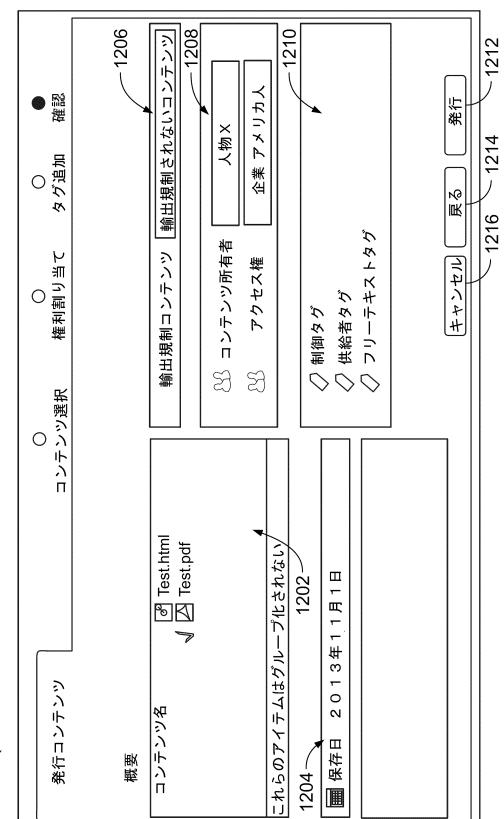
【図10】



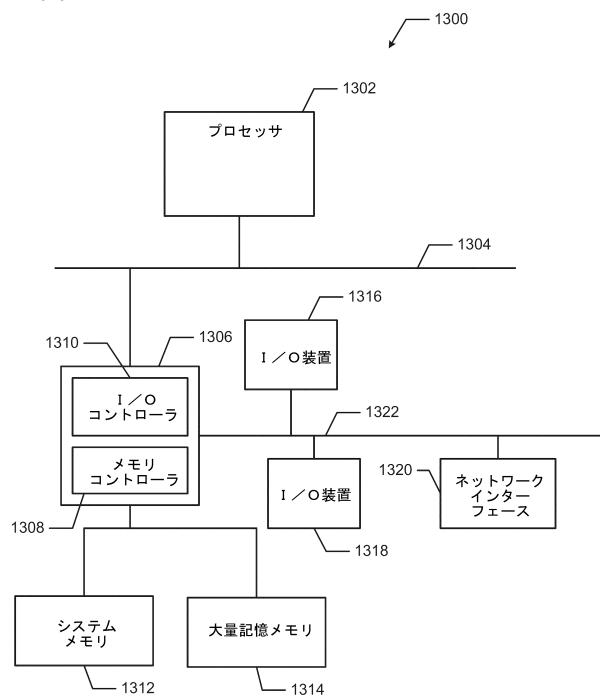
【図11】



【図12】



【図13】



フロントページの続き

(72)発明者 アンダーソン, クリストファー ジェイ .
アメリカ合衆国 ワシントン 98124-2207, シアトル, ピー.オー.ボックス 3
707 エムシー 11-89

(72)発明者 マッカーサー, アラン
アメリカ合衆国 ワシントン 98124-2207, シアトル, ピー.オー.ボックス 3
707

審査官 橋口 龍弥

(56)参考文献 特開2009-211603(JP, A)
特開2006-134041(JP, A)
特開2006-155630(JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G 06 F 17/30

G 06 Q 30/06

G 06 Q 50/10